

児童発達支援事業所における自己評価(公表)

公表:令和6年3月29日

事業所名 てあてるの芽(豊川)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			広いスペースの中で集団での活動や、個別で活動が出来る広さを用意しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			法令遵守の職員配置をしています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			室内は視覚的に構造化を配慮し、伝達方法では絵カードやタイマーを使い工夫しています。車の乗車位置は、写真を使って目で見てわかりやすくしています。トイレを含めバリアフリーとなっておりますが、コロナ対策により入口を分けているため入り口部分のみ段差があります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			毎日の清掃及び消毒、場面が変わるたびに消毒を行うなど清潔を保ち、換気や空気清浄機の稼働、加湿器を設置して室内環境に配慮しています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎日、業務終了後に振り返りを行い、必要に応じてミーティングで課題の洗い出し及び見直しを行っています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価の公表を実施し、意向を把握し、改善できるよう努めております。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ上で公開しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修(オンライン研修含む)に参加し、その後内部研修を実施して支援の質を高めるよう努めています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			見学時にお話を聞き、ニーズや課題を把握して個別支援計画を作成しています。また支援会議を実施し、計画の作成をしています。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを活用しながら利用児の行動観察をしている。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に即して個別支援計画を作成しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			職員間で支援計画を確認し、利用児一人一人に個別支援を行っています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			プログラムの立案や支援方法は利用児の特性に応じて職員全員で話し合いをしています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			日替わりで活動プログラムを設定し、発達を促す遊びや内容の充実に努めています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			個別支援を行うとともに複数人数での遊びや、ルールのある遊びを組み合わせています。
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前には職員ミーティングを行い、活動内容や配慮する点、送迎の有無などの確認を行います。	

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後には職員間でその日の振り返りを行い、改善点を話し合います。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			その日の支援を記録し、職員間で情報共有し、改善点を話し合っています。	
	20	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6ヶ月をめぐりに定期的にもモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最も心ざわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			児童発達支援センターや保健センター等からの連絡・相談を相互に行ったり、保育所・幼稚園と連携を図っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	/				対象児がおりません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	/				対象児がおりません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				担当者が園と打ち合わせを行い、情報共有を行っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	/				対象児がおりません。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				愛知県主催の研修や児童発達支援センターなどの研修に参加しています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○				保育所と併用して通っている利用児については日ごろから交流が持っていると考えますが、そうでない利用児については実績はないため今後検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○				連絡会に参加しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				定期的なモニタリングや送迎時の引き渡し時を利用して行ったり、毎日の活動記録をアプリを活用してお伝えしています。またメール(らくらく連絡網)等の連絡手段を利用しています。
保護者への	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○			個別で相談・助言を行っていただけるように考えております。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				契約時に丁寧に説明を行っており、書面でお渡し、不明な点は随時説明を行っています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○				定期的にもモニタリングを行い、支援内容を説明し同意を得ています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				モニタリング時や随時の相談に応じ、職員と情報共有をしながら支援を行っています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○				保護者会は開催していますが、保護者同士の連携までは至っておりません。今後、連携がとりあえる場を検討中です。

説明責任等	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		相談事や申し入れがあった場合、頂いたご意見や苦情等はその都度適切に対応しています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		ブログの更新、必要に応じて季節事の会報で発信していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		書類等は鍵付きの収納ボックスに保管し、ブログ等では、個人と特定できないように配慮しています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		絵カードを使い視覚支援等を行っています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	必要に応じて検討していきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		周知徹底に努めています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的(地震、火災、不審者)に行っています。保護者会開催時には、避難場所を確認し、親子で引き渡し訓練を行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		アセスメントシートを活用して把握しています。服薬が必要な際は、事前に依頼書の記入をお願いしています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	/		対象児がありません。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		職員全員で情報共有を行っています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		外部研修に参加したり、社内研修を行っています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		やむを得ず身体拘束を行うことについては、保護者に事前に十分に説明し、組織的に決定してサービス計画に記載いたします。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。